

富洲原中だより

富洲原中学校通信 No.14



令和7年6月9日

「配慮されている人」と「されていない人」がいる？

この富洲原中だよりは、配付するときに教室で一緒に読んでください。

配付期間:6月9日(月)～13日(金)

「配慮（はいりょ）」とは、まわりの人の気持ちや立場を思いやって行動することです。

「配慮されている」ってどういうこと？

たとえば…

- ・チャイムの音や掃除の時間の音が気にならない
- ・教室の蛍光灯がまぶしいと感じない
- ・体育や行事で大きな音楽が流れても平気

こういう人たちは、音や光などに対して問題なく過ごせている人たちです。

つまり、もともと「ふつう」とされている環境が、その人にとってちょうどよくできているということ。

このように、社会の中で「すでに配慮されている人」を「マジョリティ（多数派）」と呼ぶことがあります。

「まだ配慮されていない」ってどういうこと？

一方で…

- ・チャイムの音がすごく大きく感じて、耳をふさぎたくなる
- ・教室のライトがまぶしくて目がつらくなる
- ・にんげいの強い整髪料や給食のにおいで気分が悪くなる

こうした「感覚にとっても敏感な人（感覚過敏のある人）」にとっては、ふつうの学校生活が辛いこともあります。

でも、「見た目ではわかりにくい」ため、まわりに理解されにくく、配慮が足りないままにされていることがあります。

こうした人たちを「マイノリティ（少数派）」と呼ぶことがあります。

誰もが安心して過ごせるために

感覚過敏のある人は、「わがまま」「気にしすぎ」と思われることがあります。
でも実は、ちゃんと理由がある「困りごと」なのです。

学校の中には、目がまぶしさにとても敏感（視覚過敏）な人もいます。
その人たちは、教室の光や外の太陽の光がとてもつらく感じる場合があります。
そんなとき、サングラスを使うことで、少しでも安心して学校生活を送れるようにしているのです。これは「合理的配慮」の一つです。

サングラスをしていることで、「なんで?」「かっこつけてる?」と思ったり、じろじろ見てしまうことがあったかもしれません。

でも、自分の責任でないことで、「じろじろ見られる」のはとてもつらいということを理解してほしいと思います。

「その人が安心して過ごせるように何ができるかな?」と考えることが大切です。

この富洲原中だよりは、人権について考えるものです。
人権について考えるシリーズは、これからも発行していく予定です。
ご意見がありましたら、校長までお寄せください。

この富洲原中だよりの翻訳版は学校ホームページに掲載しています。QRコードからご覧ください。

The translated version of this Tomisuhara Junior High School newsletter is available on the school website. Please access it via the QR code.

La versión traducida de este boletín de la Escuela Secundaria Tomisuhara está disponible en el sitio web de la escuela. Por favor, acceda a ella a través del código QR.

यो टोमिसुहारा माध्यमिक विद्यालयको समाचारपत्रको अनुवादित संस्करण विद्यालयको वेबसाइटमा उपलब्ध छ। कृपया QR कोडमार्फत हेर्नुहोस्।

Phiên bản dịch của bản tin Trường Trung học Cơ sở Tomisuhara được đăng trên trang web của trường. Vui lòng truy cập thông qua mã QR.

富洲原中学校ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/~tomisu/cms2/htdocs/>

「学年・学校からのお知らせ」を選んでください。

Announcements from the School and Each Grade

Avisos de la escuela y por grado

कक्षा तथा विद्यालयबाट सूचनाहरू

Thông báo từ nhà trường và các khối lớp

